

# 令和5年度 妙高市行政経営方針【確定版】

## 妙高市を取り巻く現状

- 新型コロナ第8波の到来、ウクライナ情勢長期化、気候変動問題、頻発・激甚化する自然災害、価格高騰など、不安や不確実性が高まる
- 自治体や企業におけるSDGsの取組が拡大
- 想定を上回るペースの少子化、新潟県「社会減」5710人で全国最多
- 国は「こども家庭庁」を創設し、こども政策を推進する体制を強化
- 分散型社会の進展によりデジタル技術の活用が多方面で加速

## 行政経営の基本的な方向

- SDGs推進条例に基づき多様な主体との連携強化、協働による取組推進
- すべての主体が主役となるゼロカーボン実行計画の着実な推進
- 安全・安心、災害に強く暮らしやすい妙高の推進
- 観光産業の復活・関係人口による起業促進など地域経済好循環に向けた取組推進
- 多様性を尊重し市民一人ひとりが幸福を実感できる共生社会の実現
- デジタルの力を活用した社会課題解決と新たな価値の創造

## 行政経営方針のコンセプト

人口減少に果敢に挑戦し  
持続可能な「新生 妙高」を創る

～サステナビリティ・トランスフォーメーションによる未来創造～

- 不確実性が一段と高まる中、市民生活の課題を捉え、未来を見据えた次期総合計画の策定に着手
- 市民一人ひとりが主役、3万妙高家族によるSDGsの実践により、地域と地球の笑顔をクリエイト
- 想定外の事態にも、迅速に適應するために柔軟性のある行政経営を推進

## 重点方針① 「SDGs未来都市妙高の加速」

- 市民との協働による普及啓発活動と実践の輪の拡大
- 官民共創によるグリーンイノベーションの推進

## 重点方針④ 「観光・農業の再興、関係人口等の創出拡大」

- 観光・農業の再興、高付加価値化
- 多様化するライフスタイルに適應した関係人口・移住定住の拡大

## 重点方針② 「未来の妙高を支える人材の育成と環境整備」

- 地域資源を取り入れた「ほんもの教育」の推進
- 生涯を通じた学びの拠点整備
- 子育て支援に対する相談体制及び経済支援の充実

## 重点方針⑤ 「誰一人取り残さない包摂社会の実現」

- 健康な妙高暮らしの推進
- 女性活躍の推進
- 共生社会づくりの推進

## 重点方針③ 「デジタルシフトの加速」

- 自治体DX（スマート市役所）の推進
- 地域DXの推進

### 1. SDGsの全面展開

一人ひとりがSDGsを理解し取組をはじめること大きな目標の達成に近づく。妙高に暮らす全ての人と地球が笑顔になるために、あらゆる主体による実践の輪を拡大する。

- SDGs推進条例・推進実行計画に基づく3万市民によるSDGs全面展開
- 脱炭素型ライフスタイルへの促進
- 再生可能エネルギー導入に向けた取組の推進 など

### 2. 未来の主役“こども”への投資

子育ては、親だけが担うものではない。子どもを育てることは未来の妙高を支える人材を育てること。子どもの成長を社会全体で支える環境を推進する。

- 子どもたちの豊かな人間性を育むため、地域資源を取り入れた体験学習等の実施
- 市民が集い交流し、学びの相乗効果が創出される環境の整備
- 子育て世帯の包括的な支援を推進 など

### 3. 官民共創(想)による新たな価値創造

行政の力だけでは解決できない時代。地域課題の解決に向けた戦略的な官民共創(想)が新たな時代を切り開いていく。

- 産学官など多様なステークホルダーとの共創による妙高イノベーションの推進
- テレワーク研修交流施設を拠点とした官民共創(想)による地域創生
- 起業家誘致プロジェクトの実施
- 遊休施設の再利用や効果的な活用 など

### 4. レジリエントシティ<sup>※</sup>妙高の構築

持続可能な成長、幸福度、包括的成長を確保するために、変化や逆境に見舞われても、自治体運営を継続し、自立的に立ち直ることのできる基盤を作りあげる。

- 徹底した新型コロナ感染対策の実施
- 災害に強い妙高暮らしの推進・防災道の駅へのアクセスの向上
- つながりと支え合いによる地域共生社会の実現
- 多様性を活かし一人ひとりの能力を発揮できる働き方の推進 など

※レジリエントシティ…感染症や頻発・激甚化する自然災害、加速する少子高齢化など不確実性が高まる中、変化や新しい状況に適應するため、行政を変革し柔軟な対応力、機動力を備えた都市

## 未来志向・地域志向の職員意識と組織エンゲージメントの向上

○社会経済環境が大きな変革期を迎えている中、妙高市が自治体として持続・成長していくには、地域課題解決におけるイノベーションの核である市役所職員がまちづくりの理念や目指すビジョンに理解や共感を示し、自発的に貢献する意思を持つことが必要である。

○未来のあるべき市の姿を真剣に考え、未来志向・地域志向の職員を育成していくとともに、組織全体で新たな施策に挑戦していくための組織エンゲージメントの向上を図る。

## 令和5年度 妙高市の目指す姿

妙高の特性を活かし  
人口減少に果敢に挑戦するとともに  
魅力向上のブレークスルーを実現し  
妙高の新しい未来を創造

## Withコロナ時代に適應した規模縮小社会を踏まえた健全な財政運営

○景気の下振れリスクなど、不透明な状況が当面続くことが見込まれる中、SDGsの推進をはじめ、脱炭素化やデジタル技術の活用などの取組に加え、原油価格・物価高騰等に苦しむ市民や市内経済を支える施策を積極的に推進することが求められている。

○今後の財政運営にあたっては、将来的な歳入減、歳出増が見込まれる中、創意工夫による歳入確保に一層努めるとともに、真に必要な事業に積極果敢に取り組みながら、施策の選択と集中を徹底し、限られた財源を有効活用することで、持続可能な財政基盤の確立を図る。